



# えのきだより

杉久保北にある榎田工務店からのお知らせ



## VOL. 2 の内容

8月の振り返り  
アツイ夏が終わりました。

住宅用火災警報器の義務化  
から10年が経ちました。

よくある質問シリーズ  
①メーカー（商品）の  
選び方について

編集後記

## アツイ夏が終わりました。

「7回裏、劇的な満塁ホームラン」「東北勢の悲願『白河の関越え。』と、今年も甲子園球児が日本全国に感動をもたらしてくれました。大人になるにつれて『今』を全力で向き合う大切が薄れてしまいます。野球をしている多くの高校生たちにとって、今追いかけている白球に全てを注ぎ、目標一つに日々を過ごしているから、「感動を与えられる存在」になれるのだと思いました。見習います。

前回のニュースレターでも少し書きましたが、わたしたちの仕事は「**お客様に見えない（わかりづらい）作業だらけ**」です。**見えている部分はもちろんのこと、見えない部分もしっかりやるのが、当社の方針**です。

さて、海老名市民限定のリフォーム助成事業（最大10万円の助成）が終わりに近づいており、大変寂しい状況です笑。しかし、11月には海老名市限定のプレミアム付き商品券の事業が始まりますので、市民の楽しみは増えるのではないのでしょうか。当社でも利用できるよう申請を進めております。

これからも地域の皆さまに有益となる情報をお届けしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

# 住宅用火災警報器の義務化から

## 10年が経ちました。



9月1日の防災の日になんで、9月は防災月間とされています。そこで今回は、一般家庭でも設置が義務化されて10年が経った「住宅用火災警報器」についてお伝えします。住宅用火災警報器は「何か起きてからでは意味のないモノ」の一つです。しかしながら、メンテナンスをされている方は少ないと思います。そのまま放置しておいて、万一の時に反応しないのでは本当に意味がありません。

一般的に、耐用年数の目安は10年とされています。当社で連携する防災グッズを取り扱う「海老名エージェンシー合同会社」さんによると、「電池交換では不十分です。ホコリが入り、実際に火災が発生したときに煙を感知しなかったりするので、基本的に10年経ったら、本体の交換を推奨しています」とのことでした。当社では、国に認められた住宅用火災警報器の設置対応しておりますので、改修したい人はご相談ください。

## よくある質問シリーズ ①メーカー（商品）の 選び方について



住宅建材はさまざまなメーカーが参入しており、さらにメーカーがたくさんの商品を日々開発し、製造されています。「どのメーカーが良いですか?」のご質問を受ける機会がよくありますが、当社では「どのメーカーも必死に作っているものですので、どれも良い商品です」とお答えしています。

そんな中で、どの商品をご提案するのかという「メーカーではなく、**お客様の生活スタイルに合った商品**」を選ぶようにしています。性能や値段だけでなく、納期スピードや住宅の構造など、ご要望によって設置する商品は変わってくる場合があるからです。当社スタッフも勉強を怠らず、より良いご提案をさせていただきます。



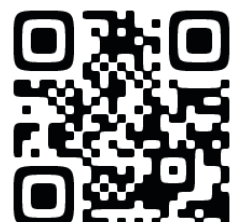
## 榎田工務店

小さな事でも構いません

家のお困り事はお問い合わせください

tel: 046-238-4994

HP随時更新中



### 編集後記

記事を書いている、まさに今、「痛風」を発症中です。お酒は一滴も飲みませんが、魚卵や肉、炭酸飲料が大好きで摂りすぎなのかも...。痛風は、日頃の生活習慣に気を付ける以外に、薬しか治しようがないそうです。自分にあったモノで、自分なりのメンテナンスの重要性を感じました。